平成22年中
交通事故統計
（四日市南警察署管内）

四　日　市　南　警　察　署

四日市市交通安全協議会　　四日市南地区交通安全協会

四日市自家用自動車協会　　三重県トラック協会北勢支部

安全運転　いつも三重から　あなたから
ゆずりあい　一人ひとりの　心がけ

ミーポくん

三重県交通安全年間スローガン

安全運転　いつも三重から　あなたから

～ゆずりあい　一人ひとりの　心がけ～

内閣総理大臣賞　【最優秀作】

運転者（同乗者を含む）に対するもの	○ ぼくはここ　チャイルドシートが　指定席
歩行者・自転車利用者に対するもの	○ 行けるかな　渡れそうでも　待つ勇気
こども部門	○ 星キラリ　自転車ピカリ　帰り道

平成23年交通安全運動

（1）期間を定めて行う運動

運動名	運動期間
春の全国交通安全運動	5月11日（水）から 5月20日（金）まで
夏の交通安全県民運動	7月11日（月）から 7月20日（水）まで
秋の全国交通安全運動	9月21日（水）から 9月30日（金）まで
年末の交通安全県民運動	12月11日（日）から 12月20日（火）まで
夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動	10月1日（土）から 12月31日（土）まで

（2）日を定めて行う運動

運動名	実施日
交通事故死ゼロを目指す日	春と秋の全国交通安全運動期間中に実施予定
交通安全の日	毎月11日
高齢者の交通安全の日（セーフティー・シルバー・デー）	毎月21日（S・Sデー）
自転車安全対策強化日（セーフティー・バイシクル・デー）	毎月第1月曜日（S・Bデー）

もくじ

1　概　　況 …… 1
(1)　全国の交通事故 …… 1
(2)　三重県の交通事故 …… 1
(3)　都道府県別死者数のワースト順 …… 1
(4)　三泗地区の交通事故 …… 2
(5)　四日市市の交通事故 …… 3
2　過去10年間の交通事故発生状況（四日市南警察署管内） …… 4
3　交通人身事故発生状況（四日市南警察署管内） …… 5
(1)　月　別 …… 5
(2)　曜日別 …… 6
(3)　時間別 …… 7
(4)　昼夜別 …… 7
(5)　路線別 …… 8
(6)　類型別 …… 9
(7)　原因別 …… 9
(8)　死傷者の年齢別 …… 10
4　交通死亡事故発生状況（四日市南警察署管内） …… 11
(1)　類型別 …… 11
(2)　年齢・状態別 …… 11
(3)　原因別（主たる原因による） …… 11
(4)　交通死亡事故発生状況 …… 12
(5)　交通死亡事故発生場所 …… 12
5　子供（小学生以下）の交通事故（四日市南警察署管内の交通人身事故） …… 13
6　若年者（16歳～24歳）の交通事故（四日市南警察署管内の交通人身事故） …… 14
7　高齢者（65歳以上）の交通事故（四日市南警察署管内の交通人身事故） …… 15
8　交番・駐在所管内別交通事故発生状況（四日市南警察署管内の交通人身事故） …… 16
9　交通事故多発場所（四日市南警察署管内の交通人身事故） …… 17
(1)　交通人身事故多発場所（一覧） …… 17
(2)　交通人身事故多発場所（マップ） …… 17

1　概　　況

（1）全国の交通事故

● 10年連続で交通事故死者数が減少、人身事故の発生件数と負傷者数も６年連続で減少しました。

区分＼年別		22　年	21　年	増　減	増減率（%）
人身事故	件数	725,773	736,160	−10,387	−1.4%
	死者数	4,863	4,914	−51	−1.0%
	傷者数	896,208	908,874	−12,666	−1.4%

（2）三重県の交通事故

● 人身事故件数は減少しましたが、死者数は増加しました。

区分＼年別		22　年	21　年	増　減	増減率（%）
総発生件数		63,005	60,399	+2,606	4.3%
人身事故	件数	11,275	11,372	−97	−0.9%
	死者数	135	112	+2 3	20.5%
	傷者数	14,878	15,126	−248	−1.6%
物件事故件数		51,730	49,027	+2,703	5.5%

※物損事故は概数

（3）人口10万人当たりの死者数とワースト順位

● 都道府県別（人口10万人当たり）

三重県は、ワースト２位でした。

ワースト順位	都道府県名	死者数	10万人当たりの死者数
1	栃木県	146	7.28
2	三重県	135	7.22
3	鳥取県	42	7.11
4	茨城県	205	6.93
5	佐賀県	58	6.81
6	高知県	52	6.79
7	山口県	96	6.60
8	香川県	65	6.51
9	岐阜県	133	6.36
10	山梨県	49	5.65

● 都道府県別（死者）

三重県は、ワースト13位でした。

ワースト順位	都道府県名	死者数	
1	北海道	215	
2	東京都	215	
3	茨城県	205	
4	大阪府	201	
5	埼玉県	198	
6	愛知県	197	
7	兵庫県	192	
8	千葉県	184	
9	神奈川県	182	
10	福岡県	170	
13	三重県	135	

（4）三泗地区の交通事故

- 三泗地区の交通事故死者は、19人で前年（15人）に比べ4人増加しました。四日市市では、15人で前年（13人）に比べ2人増加しました。
- 三重郡では、4人（前年2人）の方が亡くなりました。
- 交通死者は増加しましたが、傷者は減少をしました。

（ア）警察署別発生状況

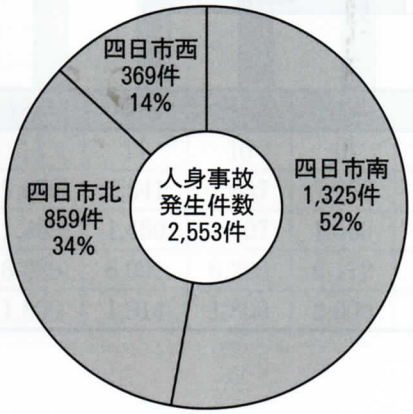
署別	総発生件数	人身事故	死者	傷者	物件事故
四日市南警察署	6,922	1,325	3	1,689	5,597
四日市北警察署	4,607	859	11	1,046	3,748
四日市西警察署	1,892	369	5	493	1,523

（イ）市・町別発生状況

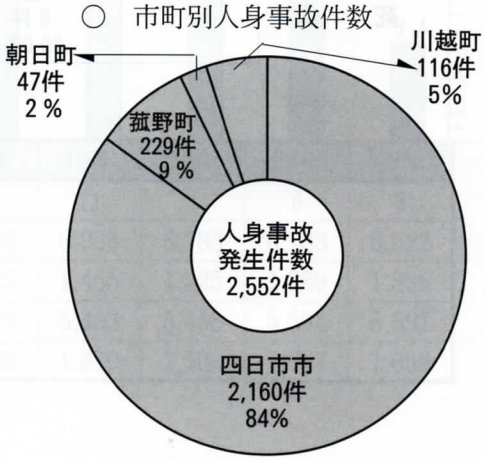
区分＼市町別		四日市市			三重郡 菰野町			三重郡 朝日町		
年別		22年	21年	増減	22年	21年	増減	22年	21年	増減
総発生件数		11,295	10,930	+365	1,206	1,110	+96	270	235	+35
人身事故	件数	2,160	2,230	−70	229	202	+27	47	56	−9
	死者数	15	13	+2	1	2	−1	0	0	±0
	傷者数	2,727	2,812	−85	301	275	+26	56	72	−16
物件事故件数		9,135	8,700	+435	977	908	+69	223	179	+44

三重郡 川越町			三重郡 小計			計		
22年	21年	増減	22年	21年	増減	22年	21年	増減
642	597	+45	2,118	1,942	+176	13,413	12,872	+541
116	120	−4	392	378	+14	2,552	2,608	−56
3	0	+3	4	2	+2	19	15	+4
143	183	−40	500	530	−30	3,227	3,342	−115
526	477	+49	1,726	1,564	+162	10,861	10,264	+597

○ 警察署別人身事故件数



○ 市町別人身事故件数

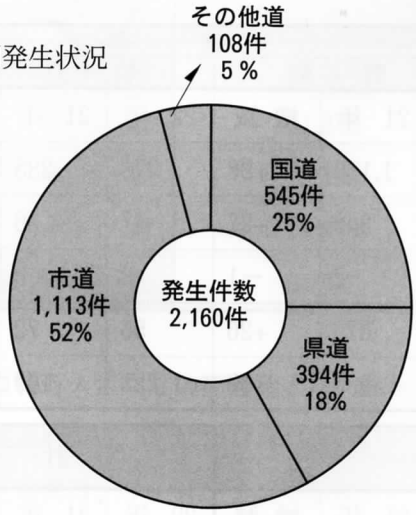


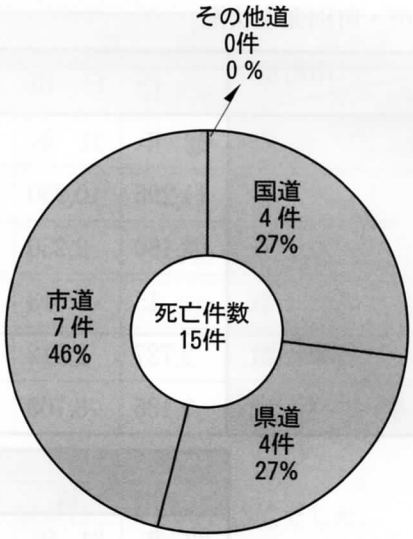
（5）四日市市の交通事故

- 人身事故（死亡事故含）が減少をしました。
- 昼間に人身事故は多発していますが、夜間については、重大事故（死亡事故）が占める割合が非常に高くなっています。

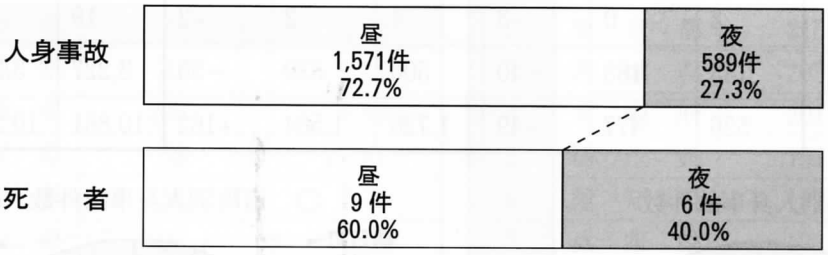
年別		22年	21年	増減
総発生件数		11,295	10,930	+365
人身事故	件数	2,160	2,230	−70
	死者数	15	13	+2
	傷者数	2,727	2,812	−85
物件事故件数		9,135	8,700	+435

○路線別発生状況



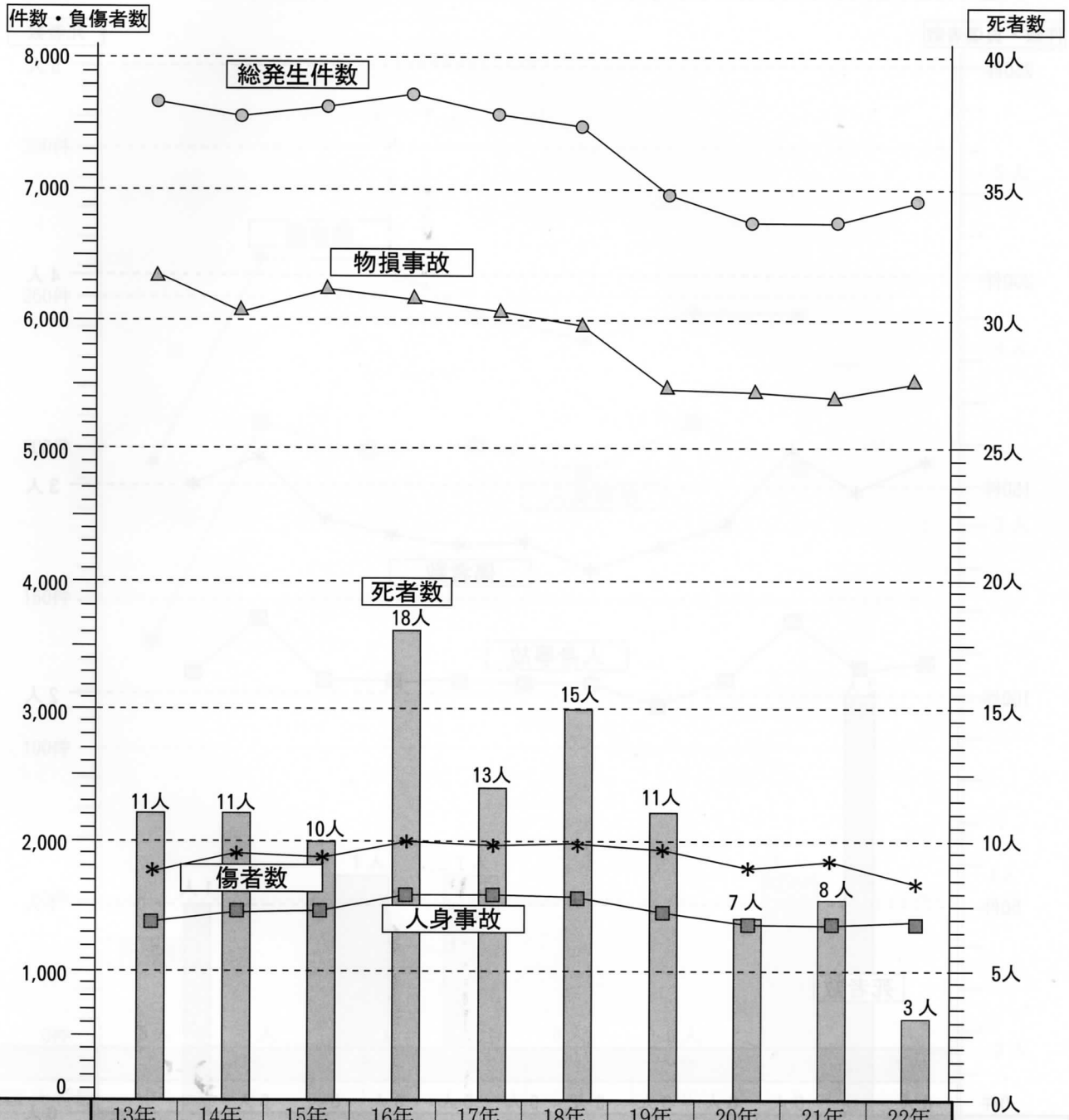


○昼夜別発生状況



2　過去10年間の交通事故発生状況（四日市南署管内）

- 過去10年間における交通事故総発生件数は概ね横ばいで推移しています。
- 交通死者は、前年より大幅に減少（－５人）しました。

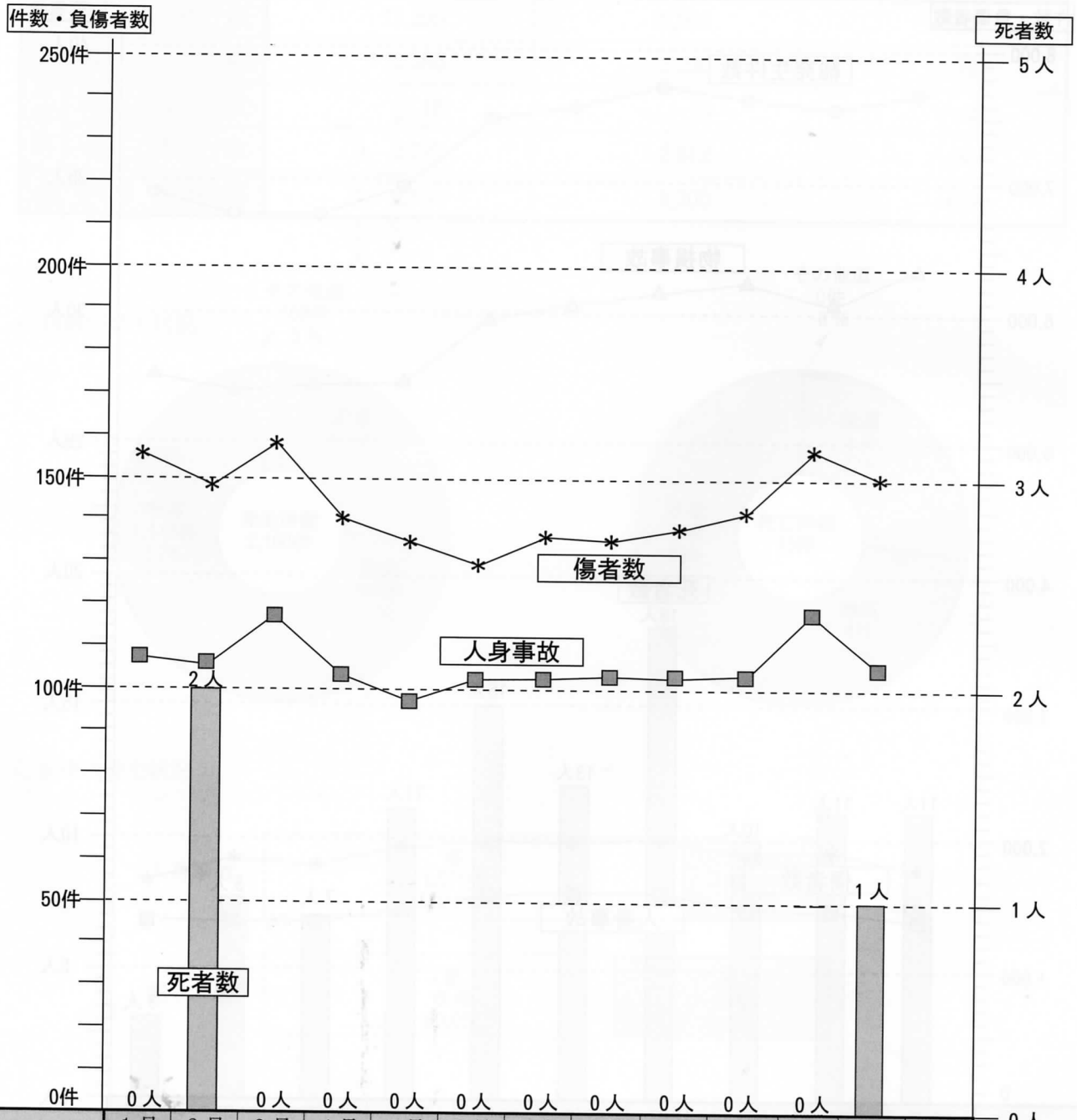


	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
死者数	11	11	10	18	13	15	11	7	8	3
総発生件数	7,679	7,541	7,637	7,752	7,565	7,463	6,938	6,783	6,783	6,922
人身事故	1,359	1,450	1,407	1,580	1,561	1,545	1,455	1,325	1,389	1,325
物損事故	6,320	6,091	6,230	6,172	6,004	5,918	5,483	5,458	5,394	5,597
傷者数	1,800	1,914	1,803	2,000	1,995	1,995	1,870	1,700	1,767	1,689

3　人身事故発生状況

（1）月別

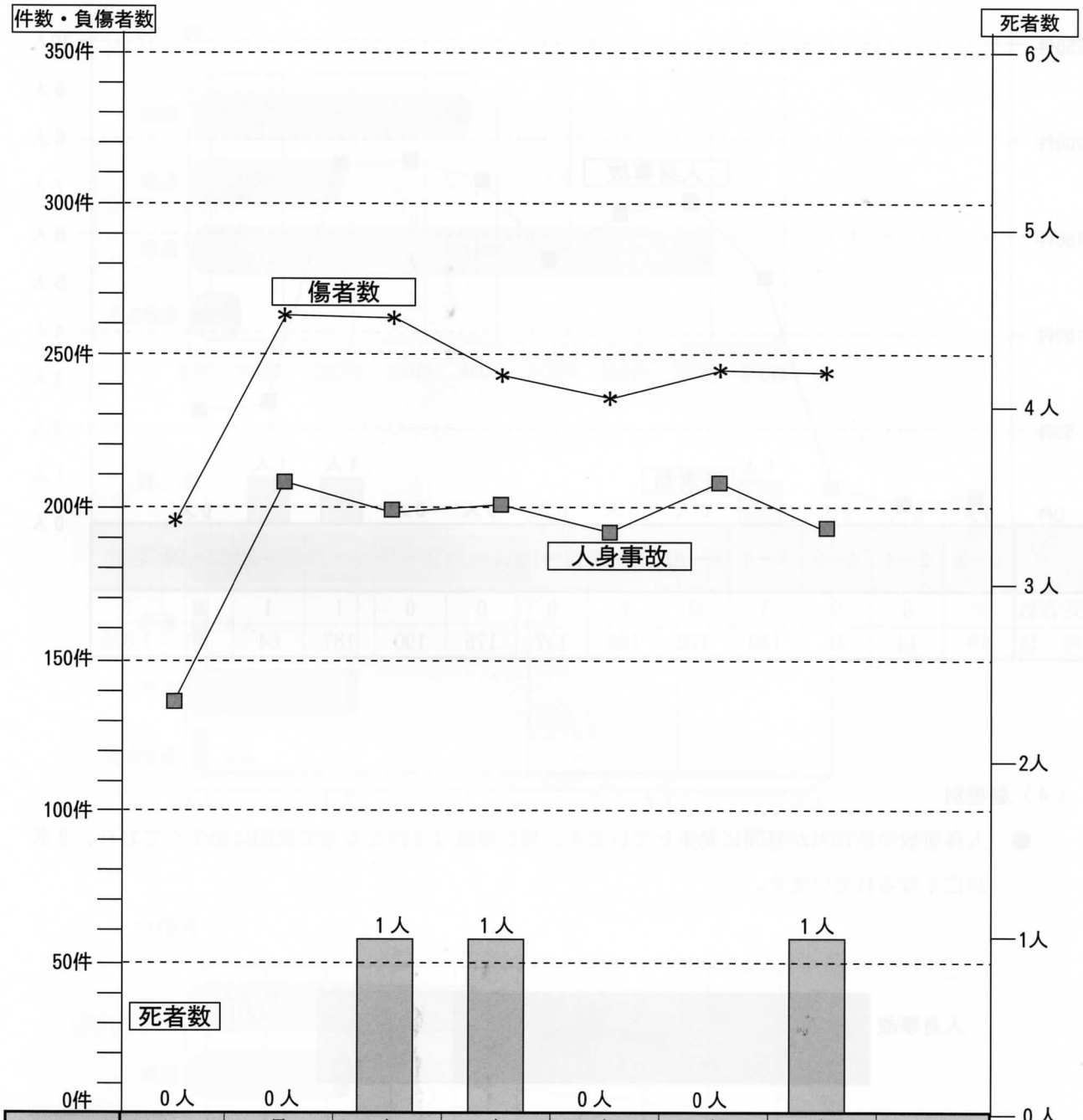
- 人身事故と傷者数は、４月から減少傾向にありましたが、11月から多発しました。
- 死亡事故は、２月18日から12月20日までの306日間ゼロを記録しました。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
総事故件数	569	485	597	591	553	535	617	577	556	579	595	668	6,922
死者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
人身事故	118	114	127	105	96	103	104	107	106	107	128	110	1,325
傷者数	158	148	167	138	127	119	131	127	130	137	157	150	1,689
物損事故	451	371	470	486	457	432	513	470	450	472	467	558	5,597

（2）曜日別

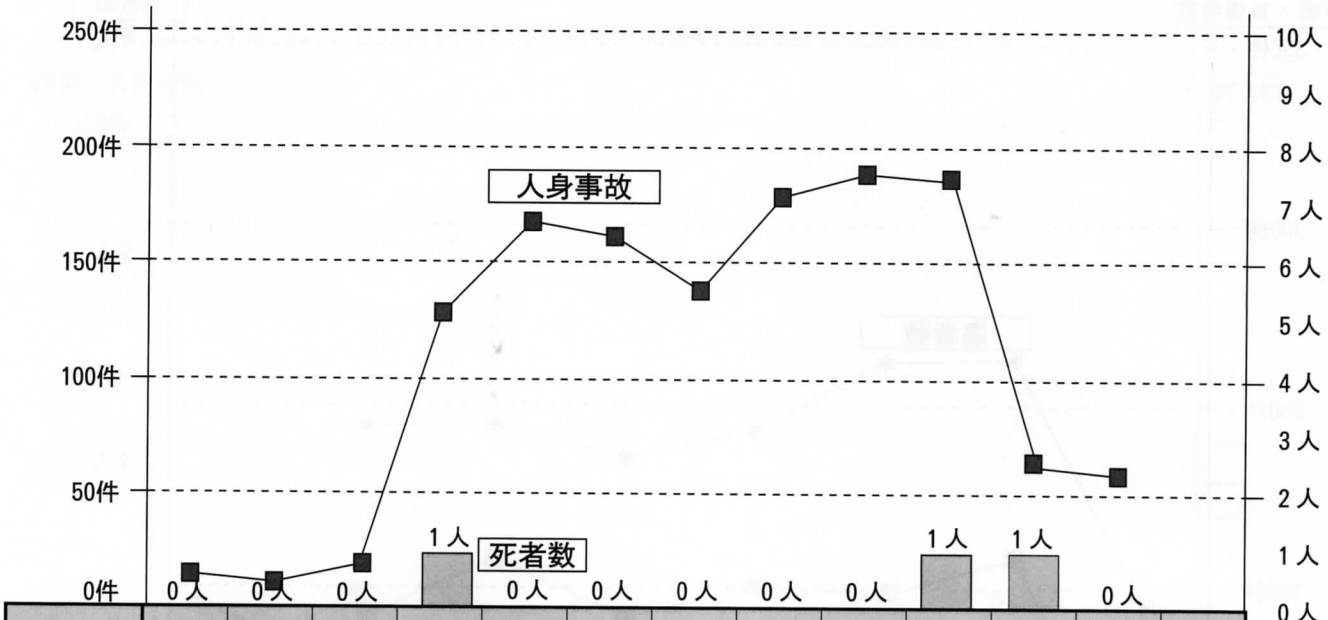
- 交通死亡事故は、火曜・水曜・土曜日に発生しました。
- 人身事故は、月曜日と金曜日に多発しました。



	日	月	火	水	木	金	土	合計
死者数	0	0	1	1	0	0	1	3
件　数	137	207	199	201	188	208	185	1,325
傷者数	198	262	260	244	235	246	244	1,689

（3）時間別

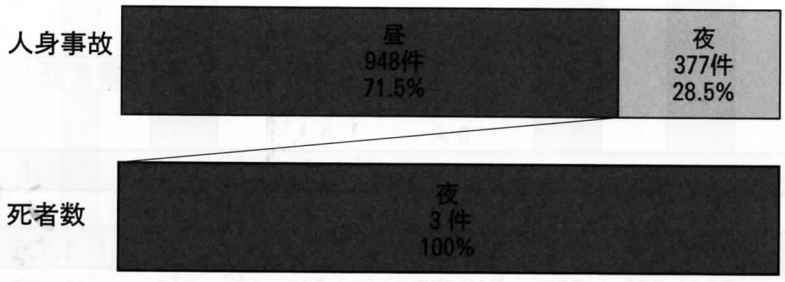
- 人身事故は、朝晩の通勤時間帯に多発しました。
- 死亡事故は3件とも、夜間に発生しました。



	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
死者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3
件　数	19	14	21	130	172	160	137	175	190	187	64	56	1,325

（4）昼夜別

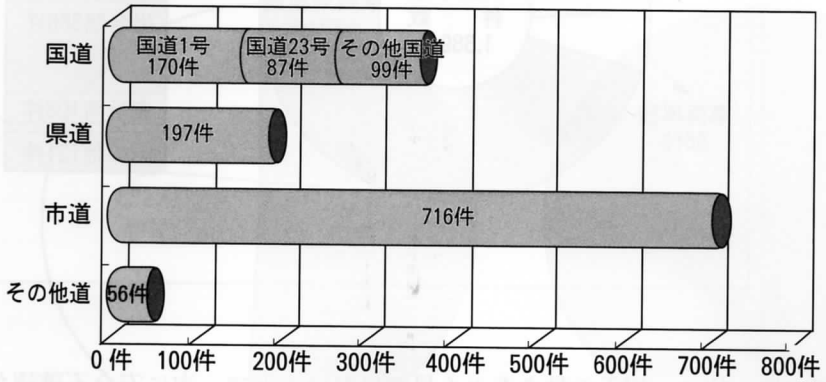
- 人身事故の約70%が昼間に発生しています。死亡事故は3件とも全て夜間に発生しており、3名が亡くなられています。



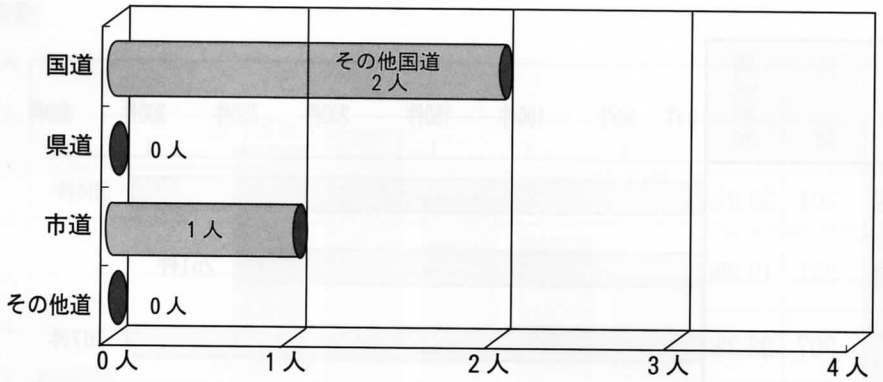
（5）路線別

- 人身事故は、市道で多発しています。
- 死亡事故の約66％が国道で発生しました。

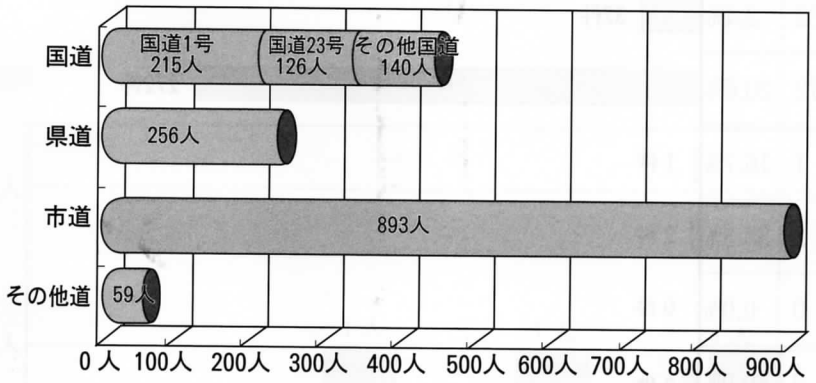
件　数



死　者

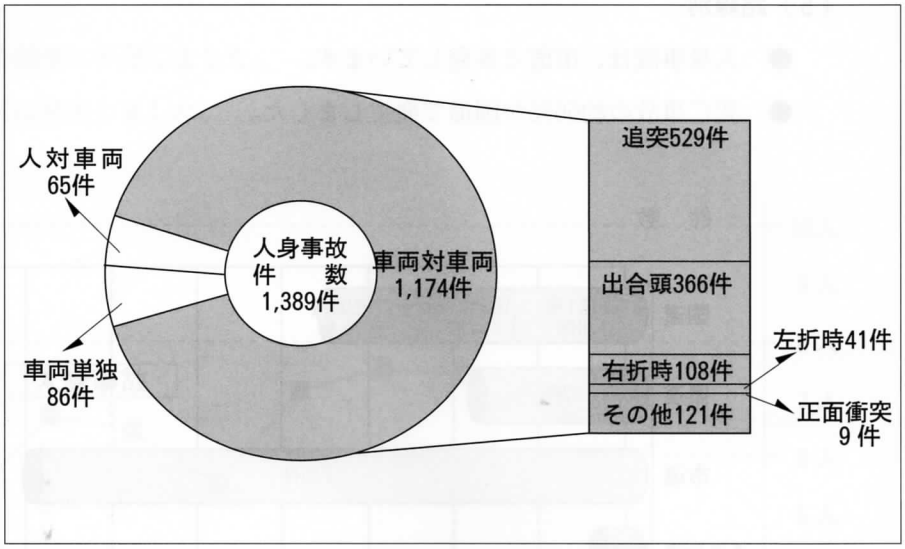


負傷者



（6）類型別

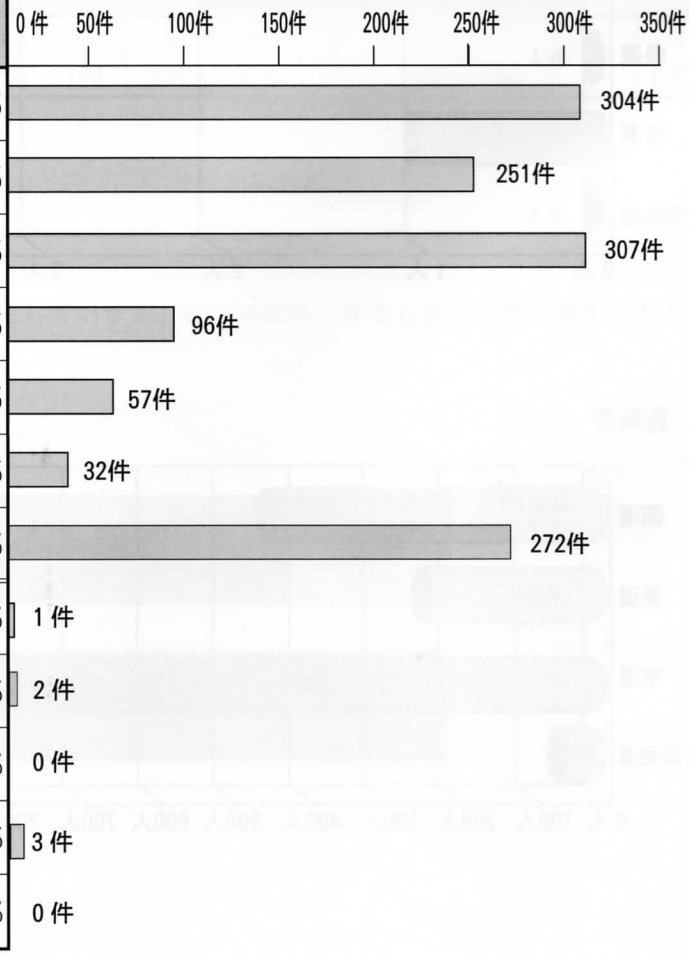
- 車両相互の事故が全体の約88%を占めています。
- 車両相互の事故の中で追突の事故が全体の約45%を占めています。



（7）原因別

- ドライバー側の原因の第一位は、相手の動きをよく見ていないことで、次に安全不確認が多い。
- 歩行者側の原因の第一位は、横断歩道外横断・斜め横断です。

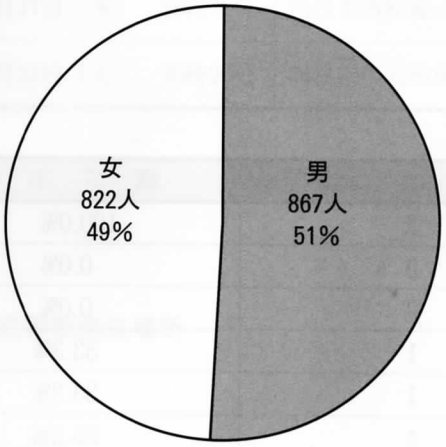
種別 区分	事故原因	件数	構成率%
ドライバー側の原因（1319件）	安全不確認	304	23.0%
	前方不注視	251	19.0%
	相手の動きをよく見ていない	307	23.3%
	一時不停止	96	7.3%
	信号無視	57	4.3%
	歩行者妨害	32	2.4%
	ブレーキ・ハンドル操作等他	272	20.6%
歩行者側の原因（6件）	飛び出し	1	16.7%
	信号無視	2	33.3%
	車両の直前直後横断	0	0.0%
	横断歩道外横断・斜め横断	3	50.0%
	その他	0	0.0%



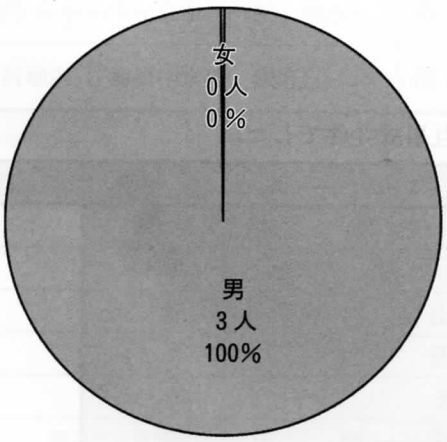
（8）死傷者の年齢別等

- 死者数は３名で、うち１名が65歳以上の高齢者です。
- 傷者は、20歳代、30歳代が多かった。

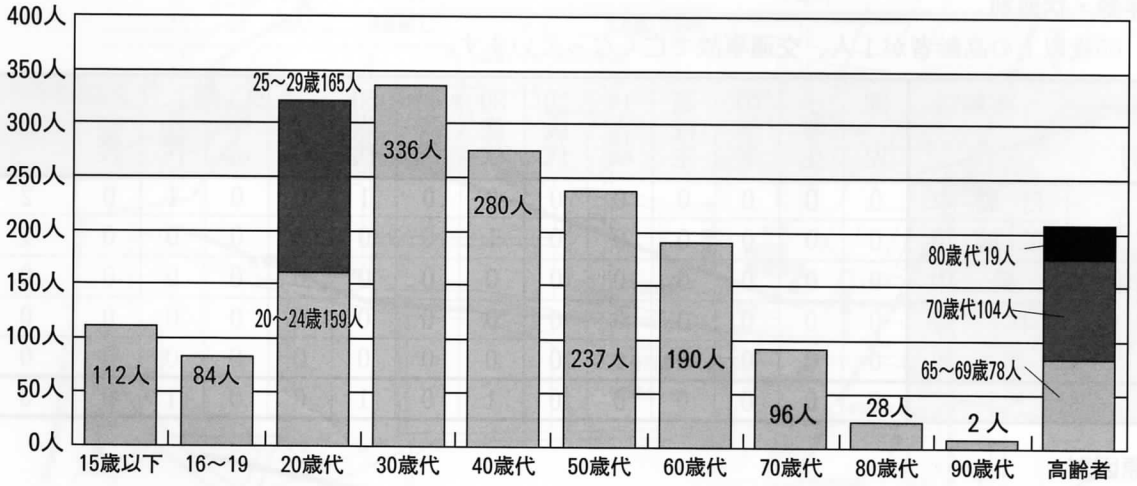
傷者（数）



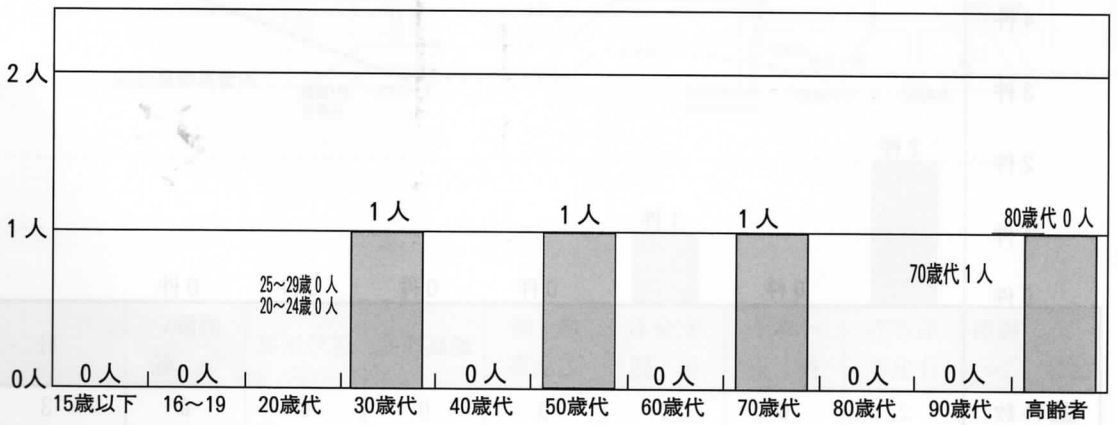
死者（数）



傷者数



死者数



4　死亡事故発生状況

- 平成22年中の交通死亡事故は３件で３人の方が亡くなりました。
- 交通死亡事故の特徴は、
  - ・死亡事故の３件とも夜間に発生しました。
  - ・死者は国道で２人、市道で１人が亡くなりました。

（１）類型別

- 車両相互事故３件でした。

類型＼区分		件数	構成率％
総件数		3	100.0%
人対車両		0	0.0%
車両相互	出合頭	0	0.0%
	追突	1	33.3%
	その他	1	33.3%
	正面衝突	1	33.3%
車両単独		0	0.0%

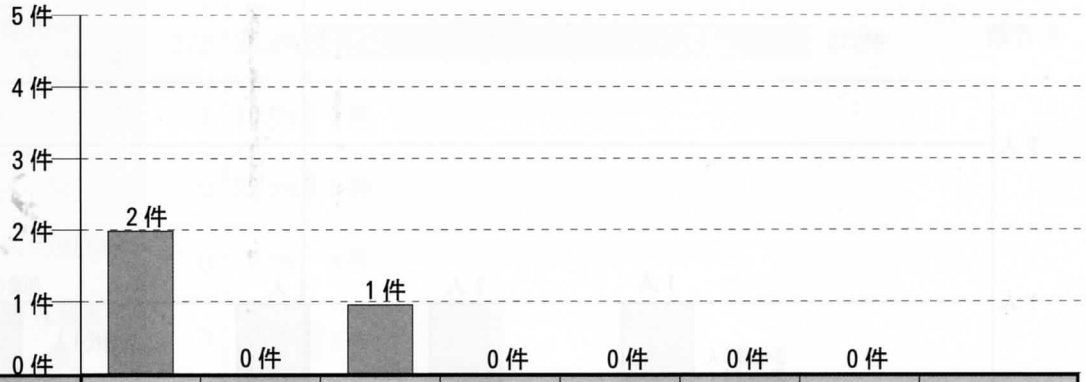
（２）年齢・状態別

- 65歳以上の高齢者が１人、交通事故で亡くなっています。

状態別＼年齢別		園児	小学生	中学生	高校生	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	高齢者 60～64	高齢者 65～69	高齢者 70歳代	高齢者 80歳代	計
運転中	自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	二輪車	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
車両同乗中		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行中等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自転車		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3

（３）原因別

- ３件の死亡事故のうち２件が前方不注視の事故でした。



区分＼種別	前方不注視等	一時不停止	安全不確認	横断方法等	最高速度	信号無視	酒酔い運転	計
件数	2	0	1	0	0	0	0	3
構成率	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

（4）死亡事故発生状況

（平成22年中　3件　3人）

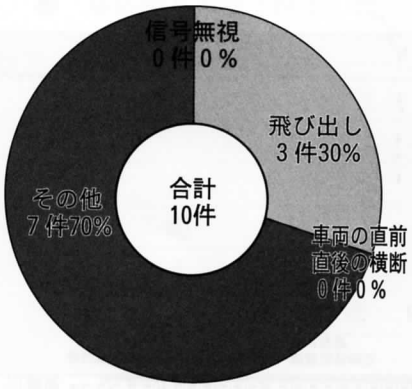
番号	発生日時	場所	路線	天候
1	2月13日（土）　6時20分	四日市市川尻町地内（「四日市市南消防署」西方）	国道25号	晴
2	2月17日（水）　18時0分	四日市市和無田町地内（「小山田記念温泉病院」南西）	市道	晴
3	12月21日（火）　20時20分	四日市市大治田1丁目地内（「海星中学校」南方）	国道25号	雨

（5）死亡事故発生場所

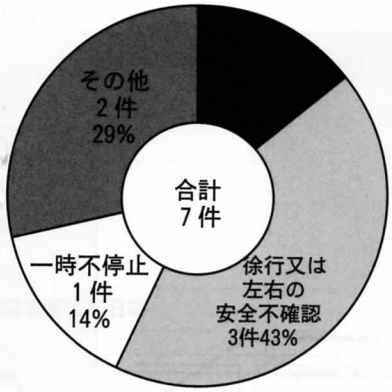
5　子供の事故（小学生以下の人身事故）

- 子供の交通事故による傷者は79人で、うち53人が自動車等に同乗中に負傷しています。
  なお、死者はありませんでした。
- 子供の交通事故原因の多くは、道路の安全不確認及び道路への飛び出し事故です。

○　**歩行中の事故の原因**
（違反なしは除く）



○　**自転車乗車中の事故の原因**（違反なしは除く）



○　**傷者の性別**

	幼児	園児	小学生	計
男	5	8	30	43
女	12	4	20	36
計	17	12	50	79

○　**死傷者の状態別**

- 自動車同乗中の傷者が53人で全体の約67％を占めています。

区　　分	合　　計		状態別					
			歩　行　中		自転車乗車中		自動車同乗中	
	22年	21年	22年	21年	22年	21年	22年	21年
幼　　児	17	22	0	1	1	0	16	21
園　　児	12	16	1	2	1	2	10	12
小　　計	29	38	1	3	2	2	26	33
小学1年	8	11	1	2	3	7	4	2
小学2年	9	7	3	2	1	3	5	2
小学3年	6	10	3	3	1	5	2	2
小学4年	7	9	1	1	3	6	3	2
小学5年	9	8	2	1	2	2	5	5
小学6年	11	3	0	1	3	2	8	0
小　　計	50	48	10	10	13	25	27	13
合　　計	79	86	11	13	15	27	53	46

6　若年者（16歳～24歳）の事故（人身事故）

- 若年者の死者は０人（前年０人）、傷者は243人で昨年に比べ38人減少しました。
- 事故原因は、動静不注視・漫然運転等が大半を占めています。

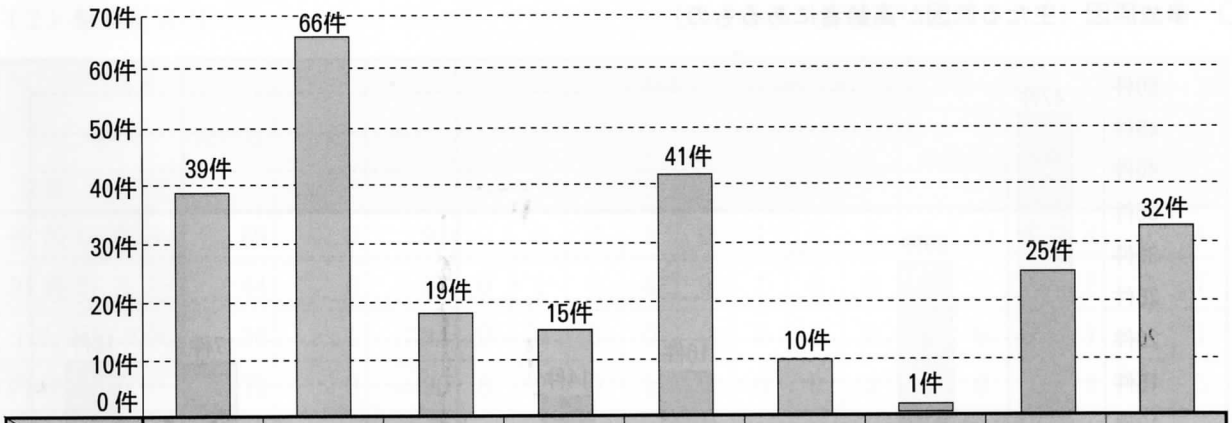
○　性別

	死者数	傷者数
男	0	127
女	0	116
計	0	243

○　若年者自身の死傷者数（状態別）

状　態　別		傷者数	死者数
自動車	運転中	119	0
二　輪	〃	13	0
原　付	〃	17	0
自転車	乗車中	41	0
自動車	同乗中	45	0
二　輪	〃	1	0
原　付	〃	0	0
歩行者		7	0
その他		0	0
合　計		243	0

○　事故原因（主たる原因が若者にあるもの）



種別／区分	安全不確認	動静不注視	最高速度	一時不停止	漫然運転	信号無視	横断歩行者妨害	脇見運転	その他
件数	39	66	19	15	41	10	1	25	32

7　高齢者（65歳以上）の事故（人身事故）

- 高齢者の傷者は204人で、全傷者数の約12%でした。死者は１人で全死者の約30%を占めています。
- 年齢別では、傷者204人のうち65～69歳が78人で38%を占めています。

○　年齢別

年　齢　別	傷者	死者
65　～　69	78	0
70　～　74	59	0
75　～　79	37	1
80　　以上	30	0
計	204	1

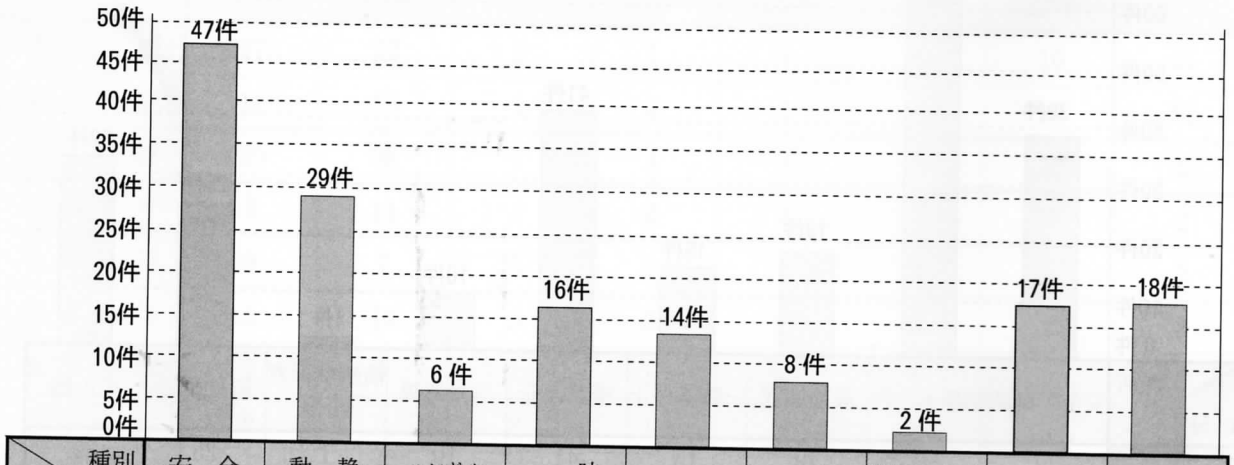
○　性別

	死者数	傷者数
男	1	94
女	0	110
計	1	204

○　交通事故に遭ったときの状態別

状　態　別		傷者数	死者数
自動車	運転中	81	1
原　付	〃	20	0
二　輪	〃	1	0
自転車	乗車中	46	0
自動車	等同乗中	31	0
歩行者		25	0
合　　計		204	1

○　事故原因（主たる原因が高齢者にあるもの）



種別／区分	安全不確認	動静不注視	ハンドル ブレーキ操作不適	一時不停止	慢然運転	信号無視	横断歩行者妨害	脇見運転	その他
件数	47	29	6	16	14	8	2	17	18

8　交番・駐在所管内別発生状況（人身事故）

- 市街地に位置する諏訪交番・日永交番・常磐交番の管内に集中して交通事故が発生しました。
- 日永交番管内で、２件２名の死亡事故が発生しました。

（１）交番管内

区分／交番	総件数	死者	傷者	死傷者の主な内訳（左－死者・右－傷者）													
				幼園児		小学生		中学生		高校生		高齢者		歩行者		自転車	
四日市橋交番	132	0	177	0	5	0	4	0	1	0	1	0	30	0	5	0	30
諏訪交番	194	0	232	0	2	0	5	0	3	0	9	0	31	0	24	0	40
常磐交番	192	0	267	0	8	0	13	0	5	0	6	0	37	0	26	0	34
日永交番	322	2	396	0	5	0	13	0	4	0	15	0	30	2	16	0	52
水上幹部交番	53	0	69	0	2	0	2	0	0	0	1	0	8	0	1	0	8
楠交番	75	0	98	0	2	0	3	0	3	0	3	0	13	0	4	0	13
四郷交番	93	0	109	0	0	0	2	0	8	0	4	0	12	0	7	0	16
小計	1,061	2	1,348	0	24	0	42	0	24	0	39	0	161	2	83	0	193

（２）駐在所管内

区分／交番	総件数	死者	傷者	死傷者の主な内訳（左－死者・右－傷者）													
				幼園児		小学生		中学生		高校生		高齢者		歩行者		自転車	
神前駐在所	69	0	91	0	0	0	3	0	1	0	2	0	19	0	4	0	4
川島駐在所	44	0	57	0	1	0	4	0	1	0	0	0	3	0	2	0	7
小山田駐在所	36	1	44	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	1	0	1
内部駐在所	70	0	90	0	2	0	1	0	0	0	3	0	9	0	2	0	5
小古曽駐在所	45	0	59	0	2	0	0	0	2	0	1	0	6	0	2	0	3
小計	264	1	341	0	5	0	8	0	4	0	6	1	43	0	11	0	20
交番・駐在所合計	1,325	3	1,689	0	29	0	50	0	28	0	45	1	204	2	94	0	213

9　平成22年交通事故多発場所（四日市南警察署管内の交通人身事故）

（1）　交通人身事故多発場所（一覧）

番号	路線別	場所	件数
1	県道	四日市市鹿間町177番地２先（瓢華堂前）	5
2	市道	四日市市日永五丁目２番21号先（稲垣製茶前）	5
3	市道	四日市市安島二丁目８番６号先（昭和ビル前）	5
4	市道	四日市市日永西三丁目10番13号先（レーベンハイム前）	4
5	市道	四日市市十七軒町１番26号先（ホームファッションニトリ四日市店前）	3
6	市道	四日市市西浜田町10番19号先（やい亭前）	3
7	市道	四日市市中川原一丁目５番６号先（太田方前）	3
8	市道	四日市市野田一丁目３番11号先（洋洋住建前）	3

（2）　交通人身事故多発場所（マップ）

三重県交通安全年間スローガン

安全運転
いつも三重から　あなたから

～ゆずりあい　一人ひとりの　心がけ～

安全運転五則

1　安全速度を必ず守る。
2　カーブの手前でスピードを落とす。
3　交差点では必ず安全を確かめる。
4　一時停止で横断歩行者の安全を守る。
5　飲酒運転は絶対にしない。

自転車安全利用五則

1　自転車は、車道が原則、歩道は例外
2　車道は左側を通行
3　歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4　安全ルールを守る
　○ 飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
　○ 夜間はライトを点灯
　○ 交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
5　子どもはヘルメットを着用